

令和 4 年 2 月 18 日	通告順序
午前・後 9 時 41 分 受領	5

令和 4 年 2 月 18 日

会津美里町議会議長 横山 知世志 様

会津美里町議会議員 5 番 山内 豪



一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年定例会 3 月会議において、次のことについて質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

- (注) 1. 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 農業の振興について	町の基幹産業である農業は米価の大幅な下落により農家の生産意欲も低下し経営的にも厳しい状況になっています。 令和 3 年度におきましては会津美里町稲作経営継続支援金制度を創設していただきましたが生産意欲の向上までには至っていないと考えます。今こそ稲作プラス園芸作物等の複合経営による農家経営の安定を積極的に推進すべきであると考えます。これらの状況を踏まえて次の 2 点について町長の見解を伺います。 ① 令和 4 年度施政方針におきまして農業生産力強化支援事業により意欲のある農業者をサポートとしております。この趣旨は理解できますが町の農業振興のためには意欲のある農業者だけではなく多くの農業者が意欲もてる施策、やる気を起こすような町の施策やサポートが大切であると考えますが見解をお伺いします。 ② 本町の地域資源の一つである「身知らず柿」は栽培歴	町長

	史もあり盛んに生産されてきたところです。ところが近年高齢化等に伴い栽培されなくなった柿畑が見受けられ荒れ始めており隣地農地に悪影響を及ぼしているところです。 町としてはこの現状、原因をどのように把握されているのか伺います。また現在は渋抜きによる出荷が大部分を占めていると思いますがより高付加価値化を図るために関係機関と提携し身知柿の二次産品化を推進し販売につなげることにより産地形成を図り生産意欲の向上と休耕している柿畑の問題解決に結びつくものと考えますが見解を伺います。	
2 新鶴スマートインターの利活用について	令和4年度施政方針において新鶴スマートインターチェンジについては今後も地区協議会を中心に利用促進に努めるとされておりますが本町とりまして重要なインフラでありますので今後より一層利活用を図り町発展に活かすべきであると考え次の2点について町長の見解を伺います。 ① 本町には「道の駅」が整備されておらず町内で生産された産品は個々に販売されております。他の先進事例を見ても地元産品を道の駅においてPR販売することは六次産業化及び観光誘客にとって大きな役割を果たすものと考えます。よって新鶴スマートインターチェンジの近辺に道の駅を整備することにより利活用の促進につながるものと考えますが見解を伺います。 ② 新鶴スマートインターチェンジに接続している町道30355号線につきましては町道30203号線交差点から町道30354号線交差点までの間が幅員が狭く特に冬期においては積雪等により交互通行が困難な時も見受けられます。県道を迂回する方法もありますがスマートインターチェンジの利用者の動線からすれば町道30355号線の改良は必要であると考えます。 またこの路線は高田工業団地を結ぶ最短の路線であることから早急な整備が必要であると思いますが見解を伺います。	町長